

まちの話題



1月20日(日)

地域の課題を地域で解決、コミュニティ・ビジネスのアイデア発表会開催!

地域の身近な課題を解決するようなコミュニティ・ビジネスのプランや、新たなるアイデアの発掘を目的とした「コミュニティ・ビジネス アイデアプラン発表会」がいきいき広場にて開催されました。



市が主催したコミュニティ・ビジネス創出支援セミナーの受講生が練り上げた5件の事業計画と、市民から応募のあった13件のアイデアが発表され、市長をはじめとするコメンテーターからの激励やアドバイスを受けました。

発表後は、発表者と参加者が和気あいあいと話し合い、「実現が待ち遠しい」「もっとこうしたらどうか」など、あちこちで意見交換が行われ会場は活気ある雰囲気。どのアイデアも工夫が詰まっています。高浜市をもっと魅力ある住みやすい街にできることを示していました。



1月26日(土)

認知症に対して地域として何ができるか

“できる限り住み慣れた地域で暮らし続けるために”をテーマとした、認知症についての講演会がいきいき広場にて開催されました。講師を務めた勝又浜子氏(厚生労働省老健局高齢者支援課認知症・虐待防止対策推進室長)は、「地域ごとに医療機関や施設の具体名を明示していくこと」、「施設やグループホームの拡充」などの重要性について説かれ、また、身近な人ができるケアについて、「万全の体調を維持すれば認知症の症状は出にくくなるので、認知症としっかり向き合って欲しい」と訴えました。

1月27日(日)

まちの公園から地場産業を盛り上げる

洲崎公園(田戸町)の一角に積み上げられたたくさんの種類の瓦。田戸町町内会の地域の皆さんと南中学校の美術部・ボランティア部を中心



昨年4月から作業を進めています

とした生徒たちが三州瓦を用いた「かわらパーク」をつくらうと、毎週日曜日の朝に汗を流しています。この取り組みは南部まちづくり協議会と田戸町町内会が、「瓦産業のPRに一役買いたい」「廃材の瓦も美しく楽しく使えることを知らせたい」という想いから昨年4月より行っています。現在は「瓦の道」や「瓦の花」が完成していて、今後だるま窯や鬼瓦も登場する予定です。完成予定は1年後とまだまだ先ですが、一度ようすを見に足を運んでみてください!



現在のようす